



## 東北の 3 月 気温は過去最高 降雪量は過去最少

東北地方の 3 月の平均気温は平年より 2.6℃高く、1946 年の統計開始以降、最高を更新しました。降雪量も平年比 14%にとどまり、1961 年の統計開始以降、最少でした。

冬型の気圧配置が現れにくく、暖かい空気に覆われやすかったことから、3 月の平均気温は、東北地方全体で平年より 2.6℃高く、1946 年の統計開始以降で最も高くなりました（これまでの最高は 2018 年の +2.2℃）。3 月の降雪量は、東北地方全体で平年比 14%にとどまり、1961 年の統計開始以降で最も少なくなりました（これまでの最少は 2018 年の 21%）。東北日本海側の降雪量は平年比 15%と過去最少、東北太平洋側では平年比 13%と過去 2 番目に少なくなりました。

平均気温は東北地方にある 17 地点の気象台と特別地域気象観測所の観測値、降雪量は 16 地点の観測値から算出しています。

詳しくは、下記 URL より、「2020 年 3 月の東北地方の天候」をご覧ください。

仙台管区気象台ホームページ 「2020 年 3 月の東北地方の天候」

[https://www.jma-net.go.jp/sendai/kouhou/houdou/20/20200401\\_03TukiGaiyou.pdf](https://www.jma-net.go.jp/sendai/kouhou/houdou/20/20200401_03TukiGaiyou.pdf)

問合せ先：仙台管区気象台気象防災部 地球環境・海洋課

担当：池田・金濱 電話：022-297-8177 FAX：022-291-8110

## 2020年3月の東北地方の天候

- 東北地方の月平均気温は、3月として1946年以降最も高かった。  
○東北地方の降雪量は、3月として1961年以降最も少なかった。

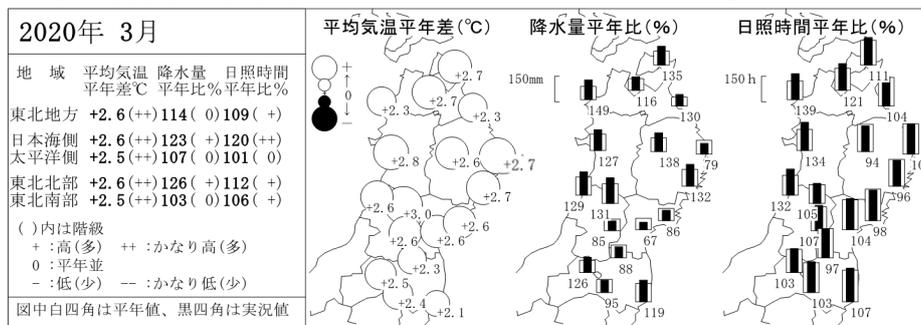
### 概況

高気圧と低気圧が交互に通過し、天気は数日の周期で変わった。冬型の気圧配置が現れにくく、暖かい空気に覆われやすかったことから、東北地方の月平均気温はかなり高くなり、月降雪量はかなり少なくなった。東北日本海側では日照時間がかなり多くなった。低気圧の影響を受けやすかったため、東北北部の月降水量は多くなった。中旬と下旬は一時的に寒気が流れ込んだため、気温が平年を下回った日があった。月平均気温は、東北地方で平年差+2.6℃と、3月としては1946年以降で1位<sup>※1</sup>の高温となった（これまでの1位は2018年の+2.2℃）。また、月降雪量は東北地方でかなり少なくなり、平年比14%と3月としては1961年以降で少ない方から1位<sup>※1</sup>の記録を更新した（これまでの1位は2018年の21%）。地点別の月平均気温は、青森、深浦、むつ、秋田、盛岡、宮古、仙台、石巻、山形、新庄、酒田、若松で3月として高い方からの1位<sup>※1</sup>（仙台、山形は1位タイ）を記録した。また、10日の日最低気温は、大船渡で10.6℃、仙台で10.7℃となり3月として高い方からの1位<sup>※1</sup>を記録した。19日の日最高気温は、新庄で20.1℃となり3月として高い方からの1位<sup>※1</sup>を記録した。

10日から11日にかけては低気圧の影響により、東北太平洋側を中心に大雨となった。10日の日降水量は、大船渡で103.0mmとなり、3月として多い方から1位<sup>※1</sup>の記録を更新した。20日は日本海を発達しながら進んだ低気圧の影響により、八戸で日最大風速28.9m/sを観測し、3月の日最大風速の1位<sup>※1</sup>を更新した。27日は低気圧や前線が通過し、秋田県と山形県で大雨となった所があった。29日は南岸低気圧の影響により、福島県で大雨や大雪となった所があった。

（※1：統計開始以降の順位を示す）

月平均気温はかなり高い。月降水量は東北北部で多く、東北南部で平年並。月間日照時間は東北日本海側でかなり多く、東北太平洋側で平年並。月降雪量はかなり少ない。



平均気温の平年差、降水量・日照時間の平年比の分布

2020年3月の月降雪量地域平均平年比と階級

	地域平均平年比	階級
東北地方	14%	かなり少ない
東北日本海側	15%	かなり少ない
東北太平洋側	13%	かなり少ない
東北北部	11%	かなり少ない
東北南部	17%	かなり少ない

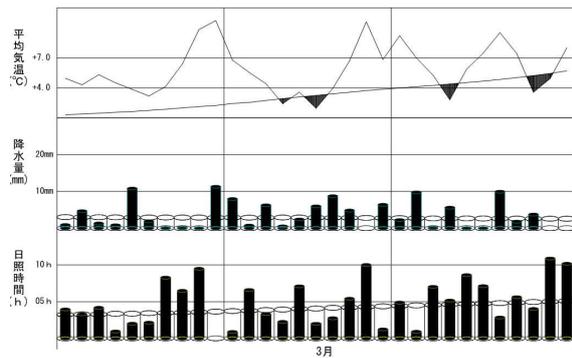
降雪量平年比(%)



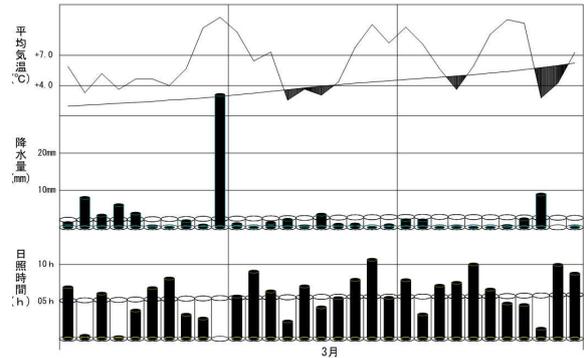
降雪量の平年比の分布

### 降水量、日照時間、降雪量平年比分布図の凡例について

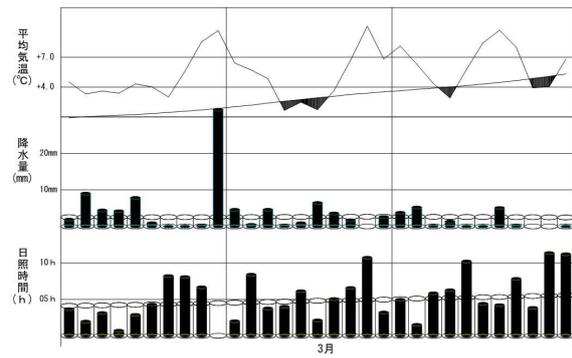
降水量、日照時間、降雪量平年比分布図の各地点の白四角と黒四角はそれぞれ平年値と実況値です。各分布図の左上のスケール（高さ）は、降水量（mm）、日照時間（h）、降雪量（cm）を表します。各地点の数字は平年比（%）です。



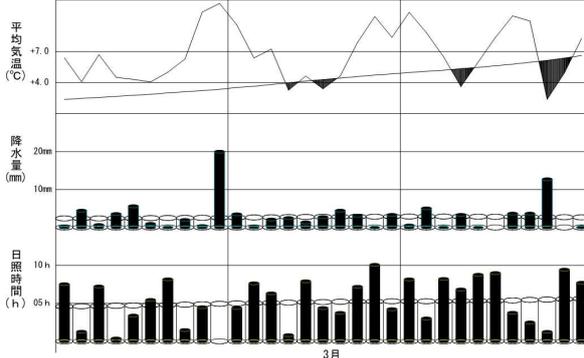
東北日本海側



東北太平洋側



東北北部



東北南部

平均気温、降水量、日照時間の経過

左上は東北日本海側、右上は東北太平洋側、左下は東北北部、右下は東北南部の気象官署の観測値と平年値の地域平均。気温は折れ線が観測値、実線が平年値で、陰影は平年値より低いことを示す。降水量と日照時間は黒円柱が観測値、白円柱が平年値。

注意事項

気候統計値は、東北地方にある17地点の気象台、特別地域気象観測所の観測値より求めています。このうち、降雪量については、小名浜を除く16地点より求めています。(速報値)

細分地域を東北日本海側は青森県津軽・秋田県・山形県・福島県会津、東北太平洋側は青森県下北・三八上北・岩手県・宮城県・福島県中通り・浜通り、東北北部は青森県・秋田県・岩手県、東北南部は宮城県・山形県・福島県としています。

気温の高い・低い、降水量、日照時間、降雪の深さ合計の多い・少ないは、特にことわらない限り平年と比較した階級を表します。平年値の統計期間は1981～2010年です。階級区分は、1981～2010年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が10個ずつになる)ように決めています。また、値が1981～2010年の観測値の上位または下位10%に相当する場合には「かなり高い(多い)」「かなり低い(少ない)」と表現します。

## 2020年3月の極値・順位の更新 (順位の更新はタイ記録も含んでいる。タイ記録は「=」で表す。)

月平均気温高い方からの順位更新

順位	地点名	平均気温 ℃	平年差 ℃	これまでの最高 ℃ (西暦年)	開始年	平年値 ℃
1	新庄	5.2	+3.0	4.1 (1989)	1958	2.2
	若松	5.8	+2.5	5.5 (2016)	1954	3.3
	深浦	5.2	+2.3	5.0 (2008)	1940	2.9
	青森	5.1	+2.7	4.6 (2018)	1882	2.4
	むつ	4.5	+2.7	4.3 (2015)	1935	1.8
	秋田	6.4	+2.8	5.8 (2008)	1883	3.6
	盛岡	4.8	+2.6	4.6 (2008)	1924	2.2
	宮古	6.0	+2.7	5.9 (2018)	1883	3.3
	酒田	7.2	+2.6	6.7 (2002)	1937	4.6
	山形	6.1 =	+2.6	6.1 (2002)	1890	3.5
仙台	7.5 =	+2.6	7.5 (2018)	1927	4.9	
石巻	6.7	+2.6	6.5 (2018)	1888	4.1	
2	大船渡	6.5	+2.7	6.8 (2018)	1964	3.8
	八戸	5.0	+2.3	5.1 (2018)	1937	2.7
	白河	6.3	+2.4	6.4 (2018)	1940	3.9
3	小名浜	8.7	+2.1	9.0 (2018)	1911	6.6

月平均気温低い方から、月降水量多い方から、月降水量少ない方から、月間日照時間多い方から、月間日照時間少ない方から、降雪の深さ月合計値多い方から、月最深積雪大きい方からの順位更新の3位以内はありません。

(注) 値の横に「=」がある場合には、月別値を求める際に使用したデータ(日別値)に欠測等、統計に用いなかった値が含まれている(資料不足値)。順位は更新順位以上になることは確実であるが、統計値の使用に際しては気候表に記載した統計日数を参照されたい。  
平年値とは1981～2010年の30年間の値を平均したものである。

## 2020年3月の月気候表

地点名	平均気温(平年差) 階級		降水量(平年比) 階級		降水日数 ≥1mm	日照時間(平年比) 階級		降雪深さ(平年値) 階級		最深積雪(平年値) 階級	
	(°C)	(°C)	(mm)	(%)		(h)	(%)	(cm)	(cm)	(cm)	(cm)
青森	5.1	(+2.7) ++	81.0	(116) +	13	158.5	(121) +	13	(76) -*	7	(80) -*
深浦	5.2	(+2.3) ++	116.5	(149) +	19	153.3	(139) +*	8	(40) -*	5	(26) -
むつ	4.5	(+2.7) ++	110.5	(135) +	14	163.1	(111) +	14	(89) -*	6	(49) -*
八戸	5.0	(+2.3) ++	67.5	(130) +	8	174.3	(104) ○	4	(47) -*	3	(19) -*
秋田	6.4	(+2.8) ++	122.5	(127) +	16	167.2	(134) +*	1	(43) -*	1	(17) -*
盛岡	4.8	(+2.6) ++	111.0	(138) +	14	151.1	(94) ○	11	(46) -	4	(21) -*
大船渡	6.5	(+2.7) ++	129.0	(132) +	8	151.8	(96) ○	-	(13) -*	-	(6) -*
宮古	6.0	(+2.7) ++	64.5	(79) ○	8	179.3	(100) ○	-	(40) -*	-	(19) -*
仙台	7.5	(+2.6) ++	45.5	(67) ○	8	183.5	(104) ○	-	(14) -*	-	(7) -*
石巻	6.7	(+2.6) ++	61.5	(86) ○	6	181.3	(98) ○	-	(11) -*	-	(8) -*
山形	6.1	(+2.6) ++	58.0	(85) ○	11	149.6	(107) ○	11	(57) -	7	(24) -*
新庄	5.2	(+3.0) ++	151.5	(131) +	19	117.9	(105) +	17	(126) -*	12	(92) -*
酒田	7.2	(+2.6) ++	138.0	(129) +	16	155.0	(132) +*	1	(35) -*	1	(13) -*
福島	7.6	(+2.3) ++	66.5	(88) ○	11	169.6	(97) -	3	(24) -	2	(9) -
若松	5.8	(+2.5) ++	90.5	(126) +	15	142.4	(103) ○	20	(66) -	7	(28) -
白河	6.3	(+2.4) ++	74.5	(95) ○	9	182.3	(103) ○	15	(27) ○	14	(10) +
小名浜	8.7	(+2.1) ++	127.5	(119) +	12	197.9	(107) ○				

(注) 1. 平年値は1981～2010年の資料から求めた。

2. 「階級」の記号の意味は以下のとおり。

+ : 高い (多い)    ○ : 平年並    - : 低い (少ない)

各階級の区分値は、1981～2010年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる (各階級が10個ずつになる) ように決めた。

また、値が1981～2010年の観測値の上位または下位10%に相当する場合には階級の「+」に\*を付加した。この場合には

かなり高い (多い)                      かなり低い (少ない)

と表現できる。

また「降雪の深さ」と「最深積雪」の「階級」は平年値が「1cm」以上の場合のみ表示した。

3. 値の横に「や」がある場合には、月別値を求める際に使用したデータ (日別値) に欠測等が含まれていることを示す。 ) 付きの値 (準正常値) は通常のものと同様に扱うことができるが、] 付きの値 (資料不足値) については、統計に用いる観測資料数が不足しているため、値の下に記載した統計日数 (統計に用いた、品質が十分な日別値の数) を参考にして使用されたい。

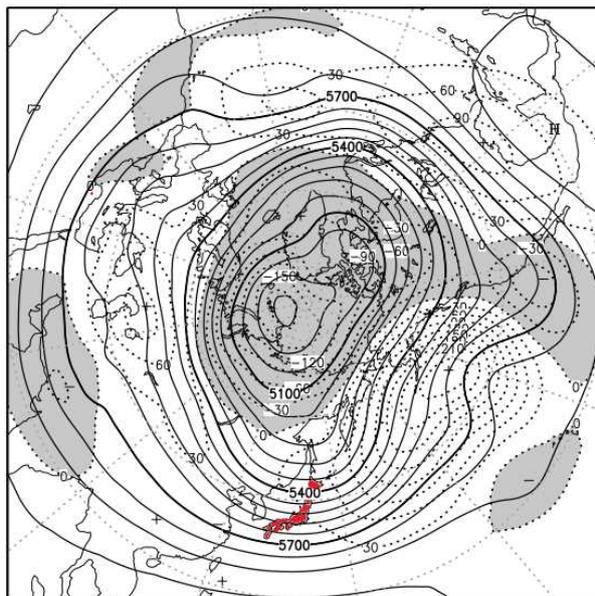
なお、日別値がすべて欠測のため値が求められない場合は「×」とした。

## 循環場の特徴

500hPa 高度は、北極付近は平年より低く、中緯度帯は平年より高くなり、北極振動が正のパターンで寒気が北極付近に蓄積し、日本を含む中緯度帯に流れ込みにくいパターンとなった。日本付近は暖かい空気に覆われやすかった。

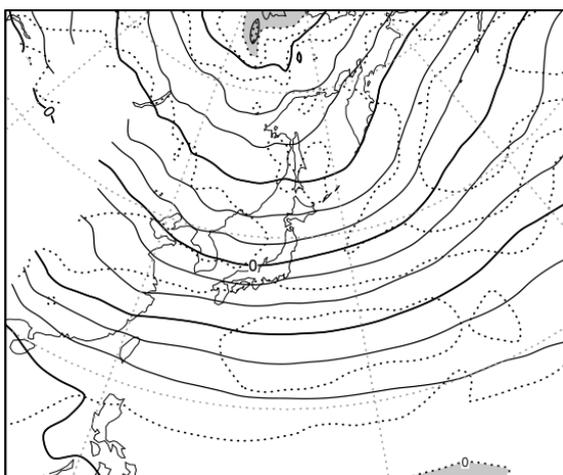
850hPa 気温は、日本付近は平年より高く、北からの寒気の南下が弱かった。

海面気圧は、日本の東海上で平年より高く、日本付近は北ほど低かった。低気圧が北日本付近を通りやすく、南から暖かい空気が流れ込みやすかった。



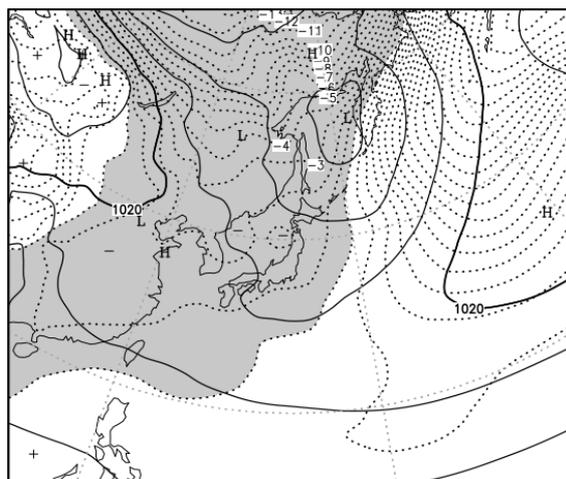
2020年3月の平均500hPa高度

実線は高度(m)、間隔60m。点線は偏差(m)、間隔30m。陰影は負偏差で一般に寒気に対応し、白抜きは正偏差で一般に暖気に対応する。



2020年3月の平均850hPa気温

実線は気温(°C)、間隔3°C。点線は偏差(°C)、間隔1°C。陰影は負偏差で寒気に対応し、白抜きは正偏差で暖気に対応する。



2020年3月の平均海面気圧

実線は海面気圧(hPa)、間隔4hPa。点線は偏差(hPa)、間隔1hPa。陰影は負偏差、白抜きは正偏差。